

木之本警察署協議会議事録

開催日時	令和6年9月9日（月）午前10時00分～午後0時20分	
開催場所	木之本警察署 3階会議室	
出席者	委員	大橋基明会長、雨森正次副会長、吉田源市委員、織田しげみ委員、立花丈太郎委員
	警察	川崎署長、小林次長、三俣会計課長、北川生活安全刑事課長 林地域課長、三崎交通課長、警備係長、警務係長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「警察の皆様には、日頃から地域住民の安全・安心のため、御尽力をいただいていることを感謝申し上げます。台風の影響も大きな被害がなく安心している。しかしながら、備える気持ちは大切であり、今後とも万全の備えをお願いしたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「委員の皆様には住民の代表として忌憚のない御意見をお願いしたい。提言のあった御意見に対しては可能な限り業務に反映し、当署の運営が住民の方々に寄り添うものであるように努めてまいりたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 当直勤務のブロック運用の試行についての説明</p> <p>4 災害対策資機材の展示及び大規模災害時の孤立集落対策の説明</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 若手警察官の育成について</p> <p>警察から採用時教養や警察署における若手の指導についての説明、また地域課員に対する実践的な教養についての説明があった。</p> <p>委員から「日頃の会話は非常に重要であり、よく会話をするのが大事ではないか。」旨の意見があり、警察から「当署は規模も小さいため、日頃から署員とのコミュニケーションがとれている。」旨の説明があった。</p> <p>委員から「仲間と協力することの重要性について若手に指導してもらいたい。」旨の意見があり、警察から「上司や同僚と協力することで、お互い成長できると感じている。まずは一体となって業務に取り組むよう指導していきたい。」旨の説明があった。</p>	

委員から「ユースマインダー制度は、とてもいい制度だと感じた。また署独自の実践形式の教養については、中堅職員も基礎を再認識できる機会となり、そこから若手への正しい指導につながるという良いサイクルだと感じる。是非、続けてもらいたい。」旨の意見があった。

委員から「人間である以上、失敗もあるため、その時にしっかりと声掛けをしてもらい、若手のモチベーションを保ってもらいたい。」旨の意見があり、警察から「警察の仕事は組織対応が基本であり、失敗があっても組織でフォローしていく。」旨の説明があった。

委員から「良いところを褒めることで、その職員がものすごくやる気になったことがあった。警察は厳しい世界にも思えるが、褒めることを大事にしてもらいたい。」旨の意見があり、警察から「朝礼などの機会に幹部から署員の目立たない行動でも褒めるようにしている。今後も続けていきたい。」旨の説明があった。

(2) その他（警察活動に対する意見・要望）

委員から「児童の下校時間帯の見守りについても推進していただきたい。」旨の意見があり、警察から「関係機関と協力して推進していく。」旨の説明があった。

委員から「冬場の路面凍結について、一部、対策がなされていない道路もあるため、対応をお願いしたい。」旨の意見があり、警察から「関係機関に働き掛けていく。」旨の説明があった。

委員から「青少年育成を推進している団体に対して、昨今問題となっている薬物乱用に関する教養を推進してもらいたい。」旨の意見があり、警察から「団体の方がお集まりになる機会を捉えて、出前講座を実施していく。」旨の説明があった。

6 次回協議会日程

令和6年12月上旬に開催されることとなった。